

高等学校における「学びのユニバーサルデザイン」構築事業 事業計画書【改訂版】

実施校：熊本県立人吉高等学校五木分校

1 目的及び目標

(授業改善に取り組むことで、どのような学校の姿を目指すのか。その目的が達成を図る指標はどのようなものか。)

【目的】

「一人一人が輝く分校生！ ～学びのユニバーサルデザインの視点をもとに～」

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善を行うことで、生徒の主体性の育成や対話的な言語環境の充実を図り、多様な生徒たちが互いに支え合い、充実した学校生活を送ることができるようにすることを目的とする。

- (1) 学校全体で取組む授業づくり (モデル→学校全体)
- (2) 落ち着いて集中できる環境づくり (授業を受ける心構え)
- (3) 肯定的な人間関係づくり (互いのよさや違いを認め合う関係)

【目標】

- (1) ユニバーサルデザインを取り入れた授業改善を実践する。
- (2) 授業者と参観者双方の授業改善につながる授業研究会を実施する。
- (3) サポートチームの活用を積極的に図り、指導助言を活かし研究を深化させる。

2 内容

(1) 授業改善の実施

- ア) 五木分校版「学びのUD (授業づくり、環境づくり、人間関係づくり)」の作成及び実践を図る。
- イ) 授業構成をモデル授業から学校全体へ広げる。
- ウ) 対話的な言語活動の充実のための学習形態を検討し実践する。
- エ) 個別指導計画の活用方法を理解し実践する。
- オ) 学習環境の整備を図る。
- カ) 支持的風土のある学級づくりを実践する。

(2) 授業研究会の実施

- ア) 教科の枠を超えた教科横断型の全職員による授業研究会を実施する。
- イ) 事前研の実施により共通理解を図ったうえで研究授業に臨む。
- ウ) 事後研 (合評会を含む) による振り返りを全職員で実施し、一人一人の授業改善を図り、校内のユニバーサルデザイン化実現へ向けて進めていく。

(3) サポートチームの活用

- ア) 特別支援教育課、県立教育センター、スーパーティーチャー、特別支援学校の巡回相談員からの授業改善における指導助言をいただく。
- イ) 学習環境の整備における指導助言をいただく。
- ウ) 支持的風土のある学級づくりにおける指導助言をいただく。

(4) 職員研修の充実

- ア) 校内研修 (生徒理解、発達障害、わかる授業、学びのUD等) を実施する。
- イ) アンケート (事前、中間、最終) 分析、課題、改善策を検討する校内研修を実施する。
- ウ) 先進校への視察研修を実施する。

3 スケジュール

時 期	内 容	備 考
2019 年度 1 月	生徒のアセスメント（実態把握）（1・2年） 全職員向け研修・学びのUD化（教育センター） 校内チーム向け研修：提案（模擬）授業（ST） 校内チーム向け研修：個別の指導計画（巡回相談員）	1月～3月 " " "
2 月	「学びのUD」校内チームによる次年度の授業づくり・環境 づくり・人間関係づくりのスタンダード作成	
3 月	校内組織編成、計画及び取組（案）作成	臨時休校(ｺｰﾄ)
2020 年度 4 月	【研修】生徒理解①（新入生実態把握、情報交換の協力）（巡 回相談員）	
5 月	【研修】「学びのUD」職員に目的・目標の周知：指導助言 （教育センター）	↓
6 月	校内チームが行う【研修】提案授業に向けて指導・助言（S T、巡回相談員） 【研修】事前研 公開授業・研究授業（提案授業）の実施 【研修】合評会WS	
7 月		臨時休校(水曜) ↓
8 月	「学びのUD」中間検証アンケートの実施 【研修】生徒理解	アンケート…8/8
9 月	【研修】「学びのUD」中間検証（教育センター） 「学びのUD」の改善方策（教育センター）	研修…運動会後（9/14～25）
10 月	校内チームが行う【研修】提案授業に向けて指導・助言（S T、巡回相談員）	
11 月	【研修】事前研 公開授業・研究授業（提案授業）の実施 【研修】合評会WS	
12 月	「学びのUD」成果検証アンケートの実施	
1 月	事業振り返り 【研修】「学びのUD」まとめ	
2 月		
3 月	成果物まとめ	

4 実施に係る校内組織（主担当者には名前の左端に◎をつけること）

	校務分掌等	担当教科	氏名
1	教頭	（国語）	杉本 康浩
2	◎教務部	国語	緒方 悠吾
3	1年担任	数学	小森田 親学
4	特別支援教育コーディネーター	養護教諭	永川 奈々
5	総務部長、2年担任	英語	西岡 泰伸
6	進路指導主事	理科	石原 睦子

※枠は適宜広げてください。

5 連絡担当者

担当者（職名）	杉本 康浩（教頭）
連絡先	TEL：0966-37-2877
	e-mail:sugimoto-y@mail.bears.ed.jp